



「宗像には可能性しかない」と評されました

ひのさと暮らし
LABOシンポジウム
『住宅地再生モデルの可能性を探る』に参加

Go! 剛!
NEWS!!

政務調査報告書

第39号

■ 定住都市むなかたの目指す姿は？可能性は？

宗像市の目標人口は、第1次宗像市総合計画(2005年策定)2015年に10万人、第2次宗像市総合計画(2015年策定)2025年に9万6千人、第2次宗像市まち・ひと・しごと総合戦略において9万7千156人です。社会増減(転出入の差)と自然増減(死亡出生の差)において社会増が自然減を上回り微増で約9万7千人。出生率は全国平均の1.33を上回る1.56です。人口減少の流れに対して、定住政策の効果がでています。

右記事では、16歳から54歳の生産年齢人口は2050年時点で全市町村の4割が半減する中、宗像市は予測より上振れしていて九州の減少率の下位19位。1位の福津市の人口増加の要因は、交通の利便性、駅周辺開発、大規模商業施設開業、安価な地価、自然環境、子育て支援、と分析されています。



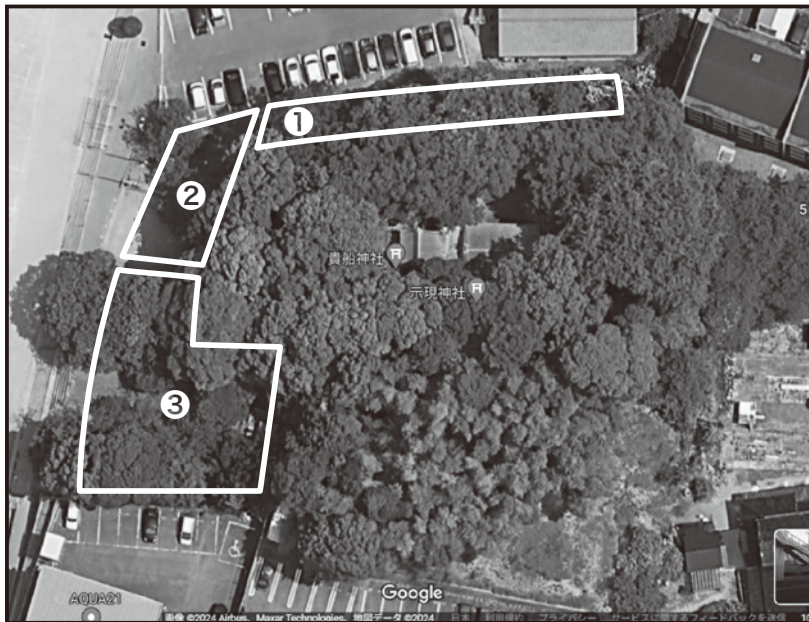
厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所が公表した地域別将来推計人口で生産年齢人口減少率の下位19位が宗像市。1位が福津市で17位が古賀市です。
(2/12付け西日本新聞記事)

隣接して共通点が多い宗像と福津の差が19位と1位であることに違和感を覚え、宗像の豊かさが伝わらず、可能性を發揮できていないと感じました。まずは19位に甘んじることなく、上位の都市に条件をあわせるためにファミリーサポートセンターの整備等、具体的に子どもを産み育てやすい支援を提案しました。そして、目指すまちの姿を明確にして、宗像の豊かさを施策に落とし込み共感をうむべき、投資を税収で回収し再投資することで、持続可能で自立したまちになるべき、と考えます。

少子高齢化の影響により人口増加は難しく、「現状維持で精一杯」な状況です。しかし、アフターコロナの価値観にあった教育、歴史文化、自然、食、人など宗像の誇れる豊かさに投資することで市の魅力を可視化する、開発可能な市街化区域や駅を中心としたまちづくりを行うことで目標人口を10万人の中都市にすることも不可能ではないと思います。

■ 宗像で子育てしたい！と感じられる教育環境を！

令和3年の一般質問において、「プレハブ校舎を解消」「必要に応じた校舎の増築、駐車場の確保」「有効なプール跡地利用を検討」という答弁を引き出し、令和6年度施政方針では、「東郷小学校のプレハブ校舎の解消に向けた検討に着手」とはじめの一步を踏み出すことが出来ました。東郷小の児童数は令和5年で671人、微増の傾向が続いています。一人当たりの敷地面積は宗像市14校の平均55㎡に対して最も狭い28㎡です。次の一步として、学校敷地の有効活用を提案しました。



【図①】示現神社の傾斜地に面した学校敷地と第1学童保育所が土砂災害特別警戒区域内にあり危険です。解除するためには高低差をなくすなどの造成工事が必要です。傾斜地には笹や竹が茂り、示現神社氏子会は高齢化のため田熊山笠が有志で草刈りをしています。

【図②】境内が学校教職員の駐車場として利用されています。敷地が狭く駐車場スペースがとれないため、送迎の車と登下校の児童の動線が一緒になり危険です。

【図③】忠霊塔跡地は経年劣化した石碑が残り、現在フェンスが設置されており、大木や雑草で鬱蒼としています。長年、遺族会に無償で貸していた民間の土地で、石碑が撤去できず道もないので活用しにくい状況です。

このように全てに課題がある土地をこの機会に一体的に有効活用することを提案しました。傾斜地は擁壁工事を行い土地を広げ危険性を無くします。同時に神社境内の高台にあり氏子会では切れない大木も同時に撤去。忠霊塔跡地は石碑を排除して所有者と交渉を行い、駐車場と一体化してレガネット側からの車用の接道をつくります。同時に多くの課題を抱えている氏子会と話し合いウィンウィンの関係をつくれたらと考えます。

また、日の里東小は最も古い校舎で建築年数が50年経過、壁面の劣化がみられます。計画で想定していない老朽化であり大規模改修の前倒しが必要です。教育環境は本市の誇れる豊かさです。整備をすすめ、自治体間競争に勝ち抜く力にすべきと訴えました。

ご意見、ご感想などメッセージ頂ければ励みになります！

日々の活動はfacebookにて
fb.me/goyo4da

吉田ごうのホームページ
non3.jp/yoshidago

一般質問の会議映像は
宗像市役所HPにて



宗像市議会議員 吉田ごう
 昭和48年 3月、宗像市田熊生まれ
 東郷小学校～中央中学校卒業
 平成3年 宗像高校卒業
 平成8年 福岡大学経済学部卒業
 平成8年 株式会社トランスオービット(旅行業)
 入社、平成24年6月退社
 平成24年 10月、宗像市議に初当選
 令和2年 宗像市議に三選を果たす
現在 宗像市久原に在住
 宗像市議会副議長
 東郷地区青少年指導員会長

吉田ごう 議員活動ダイジェスト

- 1月 初蹴り、出初式、どんど焼き、ひのさと48でもちつき、とイベントが続くなか、東郷コミセンの20周年式典が行われました。人のつながりでコミュニティを運営してきたことを実感します

- 2月 ひのさと暮らしLABOシンポジウム「住宅地再生モデルの可能性を探る」で登壇しました。高い熱量が伝導してまちの内在するエネルギーに火をつけるのがまちづくりだと感じました

- 3月 定例会開催。1年間の施政方針や予算の審議。そして、51歳になりました